

第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成21年6月30日(火) 5校時

児 童 第1学年 男11名 女16名 計27名

指導者 教諭 菊地 綾子

付きたい読解力	A 説明の順序を考えながら内容の大体を読む力。〈説明的な文章の解釈〉
	B 挿絵や写真と文章とを照応させて読む力。〈説明的な文章の解釈〉
	C 読み取った内容を自分なりにまとめ発表する力。〈自分の考えの形成及び交流〉

1 教材名 いろいろなくちばし (光村1年上)

2 教材について

(1) 他教材とのかかわり

[低学年の説明文] 「いろいろなくちばし」・・・説明的文章の第1教材

・問いと答えの文章構成である。

↓
「じどうしゃくらべ」「どうぶつの赤ちゃん」順序を追って正確に読む。

・話題・問題提示に対する答えと説明の部分という文章構成である。

↓
「たんぼぼのちえ」・全体を時間の流れでの順序で説明している。問題提示はないが、まとめの部分がある文章構成である。

↓
「サンゴの海の生きものたち」・説明は、時間の順序ではなく並列の関係である。

・問題提示・説明・まとめの部分からなる。

↓
[中学年の説明文] 目的に応じ、内容の中心をとらえたり、段落相互の関係を考えたりしながら読む。

↓
[高学年の説明文] 要旨をとらえ、自分の考えをもつ。

(2) 教材について

第1学年及び第2学年の「読むこと」の内容は「イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」である。そのためには、説明の順序や内容を考えながら読んだり、問いかけ・説明の語や文のまとまりを考えながら声に出して読んだりすることが必要である。また、文の主語・述語のつながりを確かめながら読むことも、考える上で大切なこととなる。

本教材は、「写真を手がかりにして書かれていることの大体をつかむ。」ことを主なねらいにしている。本教材は、左ページの文と絵で問いかけをし、ページをめくって右ページで答えながら説明するという構成が3回繰り返される。そのため、児童は絵や写真を手がかりとしてなぞ解きをしていくように、興味をもって読み進めることができる。また、基本文型を繰り返し読む過程で文型に慣れ、1年生なりの論理的思考力を養うことができると考える。以上の点から、本教材はねらいを達成するためにふさわしい教材であると言える。

(3) 児童について

児童たちは、これまでの国語科の学習では、物語文を学習してきた。その中で、文章と挿絵を対応させて読むこと、主語・述語に気をつけながら文章を読むことを学習してきた。音読においては、口を大きく開けて読むことやはっきりとした発音で読むこと、登場人物になりきって読むことに取り組んできている。その結果、ほとんどの児童が既習の文章を楽しみながら暗唱できるようになってきた。しかし、すらすらと音読するには、かなり練習を要する児童が数名いる。

(4) 指導について

児童にとって初めて出会う説明的文章は、本教材となる。絵を見て疑問や問題意識を持たせ、写真を手がかりにして考えさせることを通して、児童の知的好奇心を刺激し、文章を読む意欲を高めるようにしたい。また、

問いと答えの基本文型を繰り返し読ませることにより、説明文の構成や言葉の使い方に慣れさせるようにしたい。さらに、学習の最後には、自分たちでクイズ大会をするという目的意識をもたせることで、主体的に文章構成を学んでいくよう意欲を高めていきたい。

3 指導目標

- (1) 生き物への関心、形態と生活の関係に興味を持ちながら、楽しく声に出して読もうとする。
(関心・意欲・態度)
- (2) 写真を手がかりにして書かれていることの大体をつかむことができる。(読むこと イ)
- (3) 問いかけ・説明の語や文のまとまりを考えながら、声に出して読むことができる。(読むこと ア)
- (4) 文の主語・述語のつながりを確かめながら読むことができる。
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (1) イ (カ))

4 指導計画 (8時間)

- <一次 つかむ> 1
 - ・範読を聞き、自分の知っている鳥について発表する。
 - ・教師といっしょに声に出して全文を読む。
 - ・クイズ大会を開くことを知る。
- <二次 見通す> 2
 - ・三つのくちばしについての説明が、それぞれ問いと答えという形式になっていることを知る。
- <三次 深める> 3
 - ・きつつきのくちばしの特徴を理解し、くちばしの働きとえさのつながりを理解する。
(本時)
 - 4
 - ・おうむとはちどりのくちばしの特徴を理解し、くちばしの働きとえさのつながりを理解する。
- <四次 まとめる> 5
 - ・図書館で鳥の図鑑などを見つけ好きな鳥を選んで読む。
 - 6～7
 - ・選んだ鳥のクイズカードを作る。
- <五次 ひろげる> 8
 - ・クイズ大会を開く。

5 本時の指導

(1) 目標

絵や写真を手がかりにして、きつつきのくちばしの様子を読み取る。

本時でつけたい読解力

A 挿絵や写真と文章とを照応させながら、きつつきのくちばしの特徴を読み取り、くちばしの働きとえさのつながりを理解する力。(本時)

(2) 展開

	学習活動 (○主展開・学習内容)	指導上の留意点・(評価方法)
つかむ 5分	1 学習課題を確認する。 きつつきは、どことなくちばしでしょう。	・ 前時を想起させながら課題を提示する。 (観察)
見通す 3分	2 学習場面を音読する。 ・ 一斉読 (学習場面の把握) ・ 一斉読 (問題解決の見通し)	・ 読みの視点をもつ。(元気よくはっきりと読む。) (観察) ・ きつつきのくちばしが、どことなくちばしなのかに着目しながら読むことを示す。

ふ か め る 3 0 分	3 内容を読み取る。	
	(1) 問いの部分を読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> きつつきの部分を読み、問いのページを視写する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「するどく」「とがった」という語を意識させながら視写させる。(ワークシート)
ま と め る 7 分	<ul style="list-style-type: none"> 絵を見て思ったことを隣同士で交流する。 きつつきのくちばしの特徴を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵と文を照応させながら、きつつきのくちばしの様子を児童なりの言葉で発表させる。(観察)
	(2) 答えの部分を読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> 答えのページを視写する。 	<ul style="list-style-type: none"> 答えやくちばしの働きとえさのつながりに関する大事な言葉を視写する。(ワークシート)
	<ul style="list-style-type: none"> 文ごとに内容をとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真と文を照応させながら、きつつきのくちばしの働きとえさのつながりを考えさせる。(観察)
ま と め る 7 分	4 まとめの音読をする。	<ul style="list-style-type: none"> きつつきのくちばしの様子を振り返り、まとめの音読させる。(観察)
	5 次時の学習内容の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> 次時は、おうむとはちどりのくちばしについて学習することを知らせる。

(3) 具体の評価規準

A 十分満足できる	B 概ね満足できる	C 努力を要する児童への支援
きつつきのくちばしの様子を読み取り、くちばしの特徴とえさとのつながりを自分の言葉で発表し、まとめることができる。	きつつきのくちばしの様子を読み取り、くちばしの特徴とえさとのつながりをまとめることができる。	きつつきのくちばしの様子やくちばしの特徴とえさとのつながりについて書かれているところに着目させる。

(4) 板書

写真

挿絵

これは、なんのくちばしでしょう。

さきが
するどく
とがった

いろいろなくちばし

これは、きつつきのくちばしです。

きつつきは、
とがったくちばしで、
きにあなたをあげます。
そして、きのなかに
いるむしをたべます。

3					2					1					意味段
⑤	④	③	②	①	⑤	④	③	②	①	⑤	④	③	②	①	落
はなのみつをすう	はなのなかにいれる	はちどり	なんのくちばし	ほそくて、ながくのびた	なかのみをたべる	わ	かたいたねのからを	おうむ	なんのくちばし	ふとくて、さきがまがった	むしをたべる	あなをあける	きつつき	なんのくちばし	さきがするどくとがった
はなのみつをすう。	ほそながいくちばしをはな	はちどりのくちばしである。	なんのくちばしだろう。	ほそくて、ながくのびたくちばしである。	なかのみをたべる	で、かたいたねのからをわ	まがったくちばしのさき	おうむのくちばしである。	なんのくちばしだろう。	ふとくて、さきがまがったくちばしである。	きのなかにいるむしをた	あなをあける。	きつつきのくちばしである。	なんのくちばしだろう。	さきがするどくとがったくちばしである。
すます。 (はなのみつ)	すます。 (はなのなか)	これは、△△の○○です。	これは、なんの○○でしょう。	(ほそい)(ながくのびた)	すます。 (なかのみ)	すます。 (たねのから)	すます。 (さきがまがった)	これは、△△の○○です。	これは、なんの○○でしょう。	(ふとい)(さきがまがった)	すます。 (むし)	すます。 (あな)	これは、△△の○○です。	これは、なんの○○でしょう。	すます。 (するどく)(とがった)
			はちどりのくちばしについて	【中3】 問いの文 答えの文			【中2】 問いの文 答えの文	おうむのくちばしについて					きつつきのくちばしについて	【中1】 問いの文 答えの文	構成

二 日常の学校生活における言語活動

- ① 物語や短文を暗唱すること。
- ② スピーチのための文例を示して、スピーチの内容を考えさせる。
- ③ 朝の会で、みんなの前でスピーチをすること